

令和4年度町村議会表彰審査方針

住民のニーズや地域における課題が多様化・複雑化する中、住民の様々な意見を反映しながら合意形成を行う地方議会は、これまで以上にその重要な役割を果たすことが求められており、そのためには若者、女性をはじめとする多様な層の住民が地方議会に参画する必要がある。

一方、新型コロナウイルス感染拡大により、非常時における地方議会の持続的な運営のあり方や住民との関わり方が模索されている中、デジタル技術の利活用にその解決の糸口を見出した地方議会も見受けられる。

町村議会においては、住民の信頼と期待に応え、議会本来の機能を十分に発揮し、地域の実情にあった議会活動を行えるよう、分権時代に対応した議会活性化方策を積極的に展開してきたが、町村議会が抱える諸課題を解決するには更なる取組みが求められている。

全国町村議会議長会では、全国 926 の町村議会になお一層の自己研鑽と更なる議会の活性化を推奨する観点から、他の範となる先進的な事績を残している議会を表彰して称えることとし、令和4年度における表彰の審査方針を下記のとおり定めるものとする。

記

町村議会の活動を「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」、「住民に開かれた議会」、「地域活性化等のために特別な取組みをした議会」の項目により、審査することとする。

- 1 「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」とは、例えば、次に掲げる事例のような活動を活発に展開し、実績を積み重ねている議会をいう。
 - ・ 議員・委員会提案による条例制定権を積極的に行使している
 - ・ 条例により議決事件を追加し、監視機能を高めている
 - ・ 議案の修正権を活用するなど政策立案機能を発揮している
 - ・ 決算審査に関し、議会として一定の審査基準を策定したり、審査の過程で出された意見をその後の政策立案に活かしたりするなど監視機能の強化に努めている
 - ・ 意見書提出権を積極的に活用している
 - ・ 議員同士の自由な討議が行われている
 - ・ 長期間の会期を設定するなど本会議や委員会が弾力的に開催できるようにしている
 - ・ 議事の内容を深めるため、公聴会や参考人制度を活用している
 - ・ 外部の専門的知見を活用するなど積極的に調査・研究を行っている

- ・ 専門分野に関する研修を積極的に行っている
- ・ 議会事務局職員の専門性の向上を図るなど議会事務局の体制強化に努めている
- ・ 議会図書室の充実に努めている
- ・ 他の地方議会と連携し、議会活動の充実に努めている
- ・ 自然災害や感染症等による非常時においても本会議や委員会等を開催できるように、開催会場や会議運営の工夫、BCPの策定、ICTの活用等により、議会活動の維持に努めている

2 「住民に開かれた議会」とは、例えば、次に掲げる事例のような活動を積極的に展開し、実績を積み重ねている議会をいう。

- ・ 議会が率先して住民懇談会、議会報告会を実施するなど住民と直接対話する機会を設け、住民の意見を議会審議に活かす努力をしている
- ・ 休日や夜間に本会議、委員会を開くなど住民が議会に足を運べる機会を増やす努力をしている
- ・ 主権者教育の一環として「子ども議会」などの模擬議会を開催し、議会への関心を高める努力をしている
- ・ 「女性議会」の開催など女性の政治への参画を高める取組みを積極的に推進している
- ・ 議会の日程や一般質問の内容等を事前に広報するなど住民の議会への関心を高める方策を講じている
- ・ 議会のホームページを開設し、会議録や委員会記録、議案やその付属資料、議案に対する議員の賛否等を掲載するなど議会情報を積極的にかつ分かりやすく住民に伝える工夫をしている
- ・ インターネットやCATV等を利用して本会議や委員会の映像を放映するなど住民に議会の状況が分かるようにしている
- ・ 議会広報紙の企画等に議員自らが参画するなど責任ある広報を心がけ、内容についても住民に分かりやすく伝えるよう努めている
- ・ 議場のバリアフリー化など傍聴者に対する配慮をしている
- ・ 自然災害や感染症等による非常時においても、ICTを積極的に活用し、住民との意思疎通に努めている

3 「地域活性化等のために特別な取組みをした議会」とは、例えば、次に掲げる事例のような活動を積極的に展開し、実績を積み重ねている議会をいう。

- ・ 自然災害からの地域再生に取り組んでいる
- ・ 被災地支援に大きく貢献している
- ・ 感染症対策に係る政策提言を積極的に行っている
- ・ 多様な人材を確保するため、女性の議会参画を推進するなどの環境整備に取り組んでいる

- ・ 議員のなり手不足に真摯に向き合いその対策を講じている

令 4 年 6 月 29 日

町村議会表彰審査会

委員長 内 貴 滋 (帝京大学教授)

委 員 江藤 俊昭 (大正大学社会共生学部
公共政策学科教授)

委 員 人 羅 格 (毎日新聞論説委員)